

令和6年度
自己点検評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

1 学校の教育目標

本校は「何処の場にもありてもなくてはならぬ人となれ」という建学の精神のもと、先進的な工業技術を座学、実習の両面から徹底的に指導するとともに、豊かな教養を身につけ、企業の即戦力となる責任感旺盛な人材の養成を目標とする。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

令和6年度では、以下について重点的に取り組み教育を行った。

(1) 自動車学科

- ・ 二級自動車整備士13年連続100%合格を目指し、27名の学生一人一人に合った指導を徹底するとともに、校内での企業実習を増加させることにより各自動車メーカーの新技术の習得と即戦力となりえるサービス技術の向上を目指します。
- ・ 就職率100%を目指し、1年次早めの会社説明会参加を促します。
- ・ 企業から求められる人材教育（マナー研修）については、外部講師を招いて本格的な研修会を実施します。
- ・ 退学者を出さないよう遅刻や欠席をしている学生の保護者と連絡を密に取ります。

(2) エアポートサービス学科

- ・ 就職後、即戦力として業務に従事できるようグランドハンドリングの座学による知識及び実技訓練での運転技能向上を図る。
- ・ 実車を使用した現地佐賀空港での実践実習は、就職後の自信の付与にも繋がることから協力企業との連携を図りイノベーション空港で体験出来る器材操作の実習内容を取入れ実技訓練を充実させる。
- ・ 就職率100%を目指し、積極的に校内企業説明会を開催するとともにあらゆる場面を通じ企業情報を提供し、企業見学会の開催時には、学生に参加を促しスムーズな企業選択により早期就職内定の決定を図る。
- ・ 在学中に英検3級合格を目指す。合格者並びに保有者はさらに上級を受験し合格させるよう指導して行く。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色を持っているか	④	3	2	1

社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

自動車整備業界から養成校に対して、新技術等の導入に伴い基礎から電動化に対応したメカニックの育成などニーズが高まっている。併せて整備士技術検定等の一部を改正する省令の公布に伴い、令和7年度の入学者からは新教科書での授業を進めて行かなければならない。一方や航空業界では、これまでない訪日外国人観光等の訪日により、定時運行を支える質の高いグランドハンドリングスタッフの育成が求められている。また、両学科共通として社会人としての基礎づくりをテーマとし育成に努めなければならない。

学校の理念等の周知については、地道な活動ではあるが機会あるごとに発信を続けていくことが重要である。

② 今後の改善方策

- 自動車業界の電動車へのシフトについては、ややペースダウンと見られるものの環境面から舵取りが大きく変化することはないと思われる。自動車学科は、これに対応できる人材育成に関係業界団体並びに企業連携を強化した職業実践専門課程の特色を活かし整備業界の要望に応えていけるように取り組む。
- エアポートサービス学科は、国の政策としてインバウンドの増加を目標として高く掲げており入国者の多くが利用する空港において、国際化にも対応でき即戦力で活躍できる人材育成に取り組む。
- 両学科の共通事項として、マナー・コミュニケーション能力の向上を図るため引き続き外部講師による講座など積極的に取り入れ基礎の確立に役立てる。
- 学校理念等の周知は、校内での各種行事等を利用し周知を図り、学校評価アンケートなどにより周知の確認を行うことが必要となる。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1

運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事等に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
システム化等により業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

教育活動等の公開については、引き続きリアルタイムでの情報発信に努めなければならない。

② 今後の改善方策

情報発信ツールは、ホームページをベースとするもオープンキャンパス・イベント等での発信方法には他ツールの活用も検討する。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、人材育成や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1

授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 自動車学科においては、新しい電子制御機構を多く取り入れた新教科書にも対応できるように、各種研修会などへの参加を促進させる。
- ・ エアポートサービス学科では、座学はもとより校内・校外実習の質の向上を図る。

② 今後の改善方策

- ・ 自動車学科は、業界団体主催の研修会への積極的な参加は勿論のこと、機会あるごとに知識・技術の向上が図れるように取り組む。
- ・ エアポートサービス学科は、座学と実習のバランスを図り企業と連携し即戦力として活躍できる人材育成に努める。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1

卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ この数年退学者皆無で高評価を得ておりましたが、今年度退学者が複数ありました。その要因は、いずれも学校に直接結びつくものではなかったものの今後も低減に向け取り組まなければならない。
- ・ 卒業生等の評価の把握等については、情報の収集と職員間の共有が第一と思われる。

② 今後の改善方策

- ・ 学生一人一人と向き合った指導による信頼関係の構築と保護者との早期の連携をこれまで同様に維持し解決策の一助とする。
- ・ 卒業生の就職先企業への訪問等で得た活躍情報等について、許可を得てHPで紹介していくことなどで解決策となるよう取り組む。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生へのアフターフォロー（支援体制）はあるか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・ 健康管理を担うため健康に関する外部講師による講座開設も検討する。
- ・ 九州ブロック専門学校体育大会並びに佐賀県専修学校スポーツ大会へ参加できた。令和7年度は九州ブロック専門学校体育大会が佐賀県開催となるため課外活動の状況把握にも努めなければならない。

② 今後の改善方策

- ・ 健康・衛生面に向けての講座開設に向けて、各方面から情報収集を図り具現化したい。
- ・ 専門学校体育大会種目に対する支援サポートをしっかりと整えて対応する。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 自動車学科は、新教科書の導入により教育内容に沿う教材等の追加・更新が必要となる。
- ・ インターンシップの再開

② 今後の改善方策

- ・ 教育目的を達成するために必要な設備・教材の更新・購入を進めて行く。
- ・ インターンシップで社会の現況などを肌で知る絶好の機会のため、夏休み後に再開させたい。

(7) 学生募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1

校納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
------------------	---	---	---	---

① 課題

昨年度と比較し自動車学科の受験者が減少した。安定的な高充足率の維持が課題といえる。同法人が設置する高等学校からの受験者を増やすため、2年生対象の体験型ガイダンスの開催並びに担任等との連携を図り進学への意識を高めることに重点を置く必要がある。なお、県外・女子生徒・社会人からの入学は募集環境にとっては大きなプラス材料となる。広報物については、募集並びに広報活動に相乗的効果が期待できるものを作成しより効果を高める。保護者並びに高校1・2年生に対する早期アプローチを推進する。

② 今後の改善方策

- ・ オープンキャンパスの参加者数が受験者数へ大きく反映することから、特色あるオープンキャンパスの充実を図ることに着目し取り組んで行く。
- ・ 佐賀県下の高等学校進路担当者等への説明会も定着しつつあり、この説明会を起爆剤として本校の魅力を発信し周知と認知を図り志願者の獲得に繋げる。
- ・ 佐賀県・佐賀県専修学校各種学校連合会主催の会場・校内ガイダンスにおいて学校の特色・特徴など魅力発信に引き続き力を入れ裾野を拡大させる。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 学生数の減少は財務基盤に直結することから充足率の安定に取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

- ・ 募集広報における改善を実のあるものとし、財務基盤の安定化に繋げる。

(9) 法令等の順守

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 法令ならびに設置基準は順守されており適正に運営されている。併せて自己評価結果の公開も適切に行われている。なお、問題点の改善に対しては、引き続き全員が一丸となって取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

- ・ 自己点検評価の最大の狙いは、改善を必要とする項目に対し全職員で認識を統一させ、問題解決に向けた意識改革とその実行力が肝要となる。